

第137号

平成27年5月1日

発行：府中町議会 編集：議会報特別委員会

〒735-8686広島県安芸郡府中町大通三丁目5番1号
TEL(082)286-3281・FAX(082)286-3136

ふちゅう町 議会だより



笑顔で登校、新1年生

3
月
定
例
議
会

第4次総合計画に向けて始動 ～3月定例会～	2P
平成27年度予算 教育費 学校耐震化事業で過去最大規模	3P
小中学校校舎 耐震化率100%へ ～予算特別委員会～	4～5P
道徳教育の推進は ほか（一般質問）	8～10P

府中町公式ホームページアドレス <http://www.town.fuchu.hirosima.jp/>
携帯電話対応版 <http://www.town.fuchu.hirosima.jp/m/>
(i-mode・ezweb・Yahoo! ケータイ)



第4次総合計画に向けて始動

－ 3 月定例会 －



3月定例会の様子

平成27年第1回定例会を、3月6日から19日まで14日間の会期で開催し、町提出議案27件、委員会提出議案、請願等の審議と一般質問を行いました。このうち、新年度予算に関連する議案については、予算特別委員会を設置して審査を行いました。本定例会では、新年度予算を含む町提出議案を、すべて原案どおり可決しました。

平成27年度一般会計予算は、前年度比21・4%増の186億8千万円で、府中町としては最大の規模となりました。その要因は、小・中学校の耐震化事業によるもので、そのため、町債は前

年の約20億円から40億円に倍増、町債は216億円、下水道事業債89億円と合わせると305億円に膨らみました。しかし、町債は地方交付税で措置され、下水道事業債は使用料で償還さ

れるため、府中町の純借入残額は100億円未満の見込みです。19年度から5年間は純借入残額が100億円を超えており、27年度も安定した財政運営といえそうです。

地方創生事業に着手

予算・事業の中から、重要なもの、新味のあるものを取り上げました。

〈第4次総合計画策定〉

(3,400万円)

平成27年度で府中町の第3次総合計画が終了するに伴って、28年度から37年度までの10年間の「府中町のまちづくり」の骨格を示す計画で、27年度内に策定します。第4次総合計画の特徴は、国が求めている「人口減少にどう歯止めをかける

のか」、今後5カ年の地域経済活性化の「創生総合戦略」を、どう組み込むのが課題です。

〈地方創生交付金を活用した主な事業〉

府中町への交付金総額は、8,000万円です。

○プレミアム商品券発行
地元の消費活性化を目的に、町内世帯に1セット限定で、千円券12枚を1万円で販売します。

6月中旬から、くすのきプラザで1万8,400

0セットを販売する予定で、12月31日まで町内の登録店舗で使用できます。

○小・中学校教育振興

(2,400万円)

学校備品では、各小・中学校に電子黒板1台、タブレット端末6台を配備します。

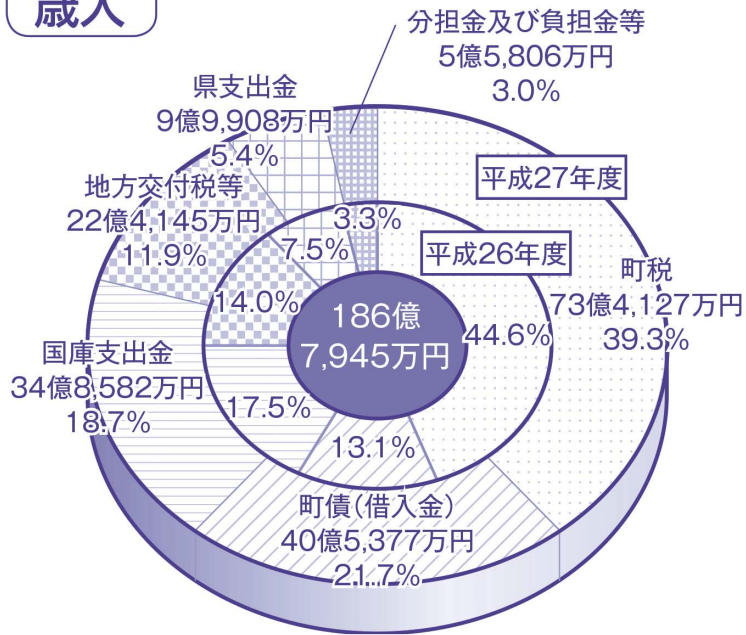
また、中学校クラブ活動への支援として、楽器のオーボエ、マリンバなど、スポーツでは、サッカーゴール、バレーボールコートの支柱など、各学校の要望に沿った備品を購入します。



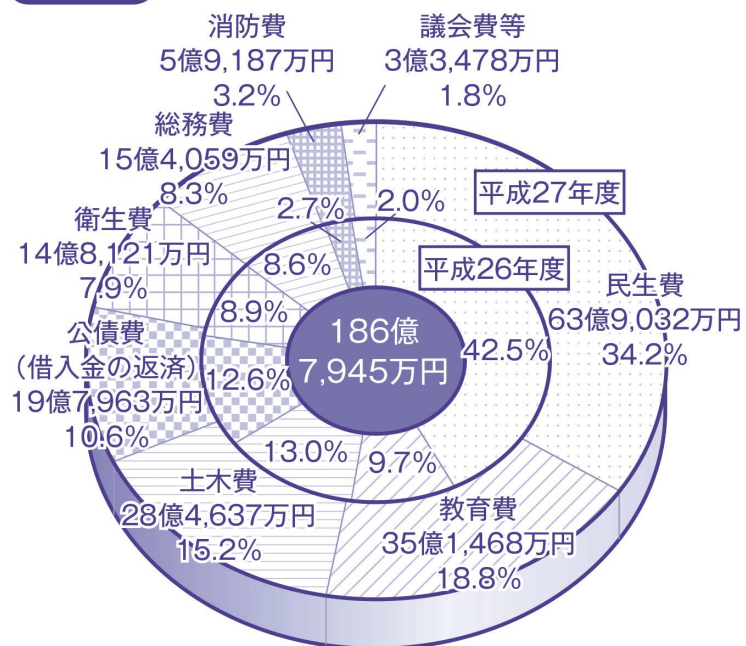
府中中学校吹奏楽部
(マーチングコンテスト中国大会)

平成27年度 一般会計当初予算

歳入



歳出



平成27年度の一般会計当初予算は、186億7,945万円で、前年度比32億8,706万円(21.4%)の大幅な増加となりました。

なかでも、教育費は、20億2,572万円(13.6%)増の35億1,468万円で、過去最大の規模です。

大幅増加の要因は、学校耐震化事業で、中央小学校

が13億4,295万円増の17億1,910万円、府中中学校・緑ヶ丘中学校が6億3,542万円増の6億8,027万円となっています。

また、全会計総額では、30億9,691万円と、前年度比39億1,925万円(14.5%)増の大型予算となりました。

平成27年度 当初予算

教育費、20億円増の35億円 学校耐震化事業で過去最大規模

※数値は「平成27年度歳入歳出予算説明資料」から

平成27年度 各会計当初予算

区分	平成27年度 当初予算額	平成26年度 当初予算額	増減額	増減率
一般会計	186億7,945万円	153億9,239万円	32億8,706万円	21.4%
特別会計				
土地取得	1万円	26万円	△25万円	△93.9%
国民健康保険	60億375万円	53億569万円	6億806万円	13.2%
下水道事業	20億5,119万円	19億9,322万円	5,797万円	2.9%
介護保険	36億2,930万円	37億6,821万円	△1億3,891万円	△3.7%
後期高齢者医療	6億2,321万円	6億789万円	1,532万円	2.5%
合計	309億8,691万円	270億6,766万円	39億1,925万円	14.5%

耐震化率100%へ

— 平成27年度予算特別委員会 —



平成27年度予算特別委員会

町から平成27年度予算案および関連議案が提出され、議会は議員全員で構成する予算特別委員会（委員長・岩竹博明議員、副委員長・西友幸議員）を設置して審査を行いました。

特別委員会では、3月10日の全体会議で各議案の総括質疑を行った後、11日には、総務文教、厚生、建設の3分科会に分かれて、部門別の審査を行いました。

3分科会の報告を受けた特別委員会は、13日に審査結果を取りまとめて本会議に報告し、採決の結果、予算案および関連議案を、すべて全会一致で原案どおり可決しました。

総務文教関係

一般会計の総務文教関係予算は、総務費が15億4,100万円で対前年度比16・3%、2億1,600万円の増、消防費は5億9,200万円で43・3%、1億7,900万円の増、教育費は35億1,500万円で136・0%、20億2,600万円の増となりました。

学校施設耐震化

（23億9,900万円）
中央小学校校舎の建築工事、府中中学校と緑ヶ丘中学校校舎の耐震化工事を行います。

番号制度システム構築

（1億5,800万円）
平成28年1月からの「社会保障・番号制度」の運用開始に向けて、システム整備を行います。

消防救急無線デジタル化

（1億1,100万円）
消防・救急無線をデジタル無線に移行するため、引き続き、4市1町で共



建設が進む府中中央小学校

同整備を行います。

審査過程における意見

○ 27年度は、28年度から新たにスタートする第4次総合計画の策定業務予算が計上されている。この計画は将来10年間の府中町のまちづくりの柱となる最上位の計画である。

また一方で、国においては、「まち・ひと・しごと創生法」が制

定され、市町村は「創生総合戦略」を定めることとなっている。

この2つの大きな計画は27年度に並行しての策定となるが、2つの計画が整合性のある、真に住民福祉の向上につながるよう強く望む。

○ 今後とも、財政計画については、後年度負担を十分視野に入れた計画とされたい。

小中学校校舎

厚生関係

一般会計の厚生関係予算は、民生費が63億9,000万円で、対前年度比2・3%、1億5,300万円の減、衛生費が14億8,100万円で、8・1%、1億1,000万円の増、労働費は4,200万円で増減はありませんでした。

施設型給付・地域型保育給付事業

(1億5,700万円)
子ども・子育て支援新制度により、町の確認を受けた教育・保育施設とその事業に要する費用として、認定こども園に「施設型給付費」を、地域型保育事業に「地域型保育給付費」を給付します。

また、補助金の交付においては、その使途について町の指導が行いやすい形態を考慮、導入すべきである。

○ 災害対策事業の一環である防災行政無線デジタル化整備については、整備計画に沿って速やかに進められたい。

建設関係

一般会計の建設関係予算は、土木費が28億4,600万円で、対前年度比42・2%、8億4,500万円の増、下水道事業特別会計は、20億5,100万円で、2・9%の増となりました。

(仮称)本町住宅・北部総合福祉施設等整備

(1億3,200万円)
町営住宅、児童センター1、集会所を兼ね備えた複合施設の新築工事に着手します。

○ 商工会の健全な運営のため、必要な条件である組織率の向上に向けて今後も努力が続けられたい。

向洋駅周辺土地区画整理

(8億1,600万円)

向洋駅南側の本格的な整備に向けて物件移転補償等を行います。



(仮称)本町住宅・北部総合福祉施設建設予定地

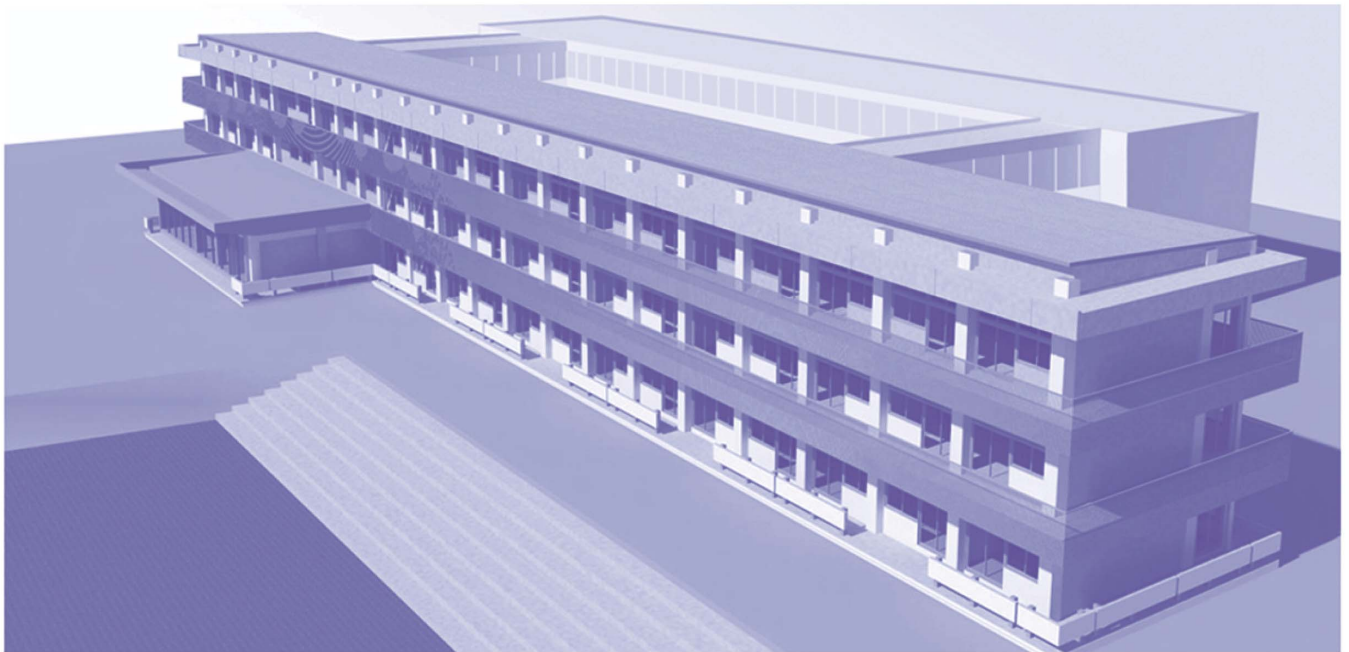
■審査過程における意見

○ 空き家対策については、特別措置法に基づく運用指針が示された後は、関係部局が連携して、早期に適切な対策を講じられたい。

○ 道路整備にあたっては、歩行者や自転車の安全にも配慮するとともに、関係機関、関係部署とも連携し、交通安全意識の醸成を図られたい。

減築により耐震化

— 全員協議会 —



府中中学校完成予想図

特別教室棟は建て替え

2月13日の全員協議会において、町から府中中学校校舎耐震化工事の説明を受けました。
普通教室棟は4階部分を撤去して3階建てに減築し、特別教室棟・工作室棟は建て替えにより、校舎の耐震化が図られます。

昨年、府中中学校校舎のコンクリート調査が行われ、現状での問題点が洗い出されました。

○現状での問題点

- ・漏水等により、コンクリートの中性化が進行している。
- ・現校舎の耐用年数は、改修工事完了から26年と想定される。
- ・現校舎は立地により2メートルの高低差があり、給食室のにおいが流入するなど、機能上の問題がある。

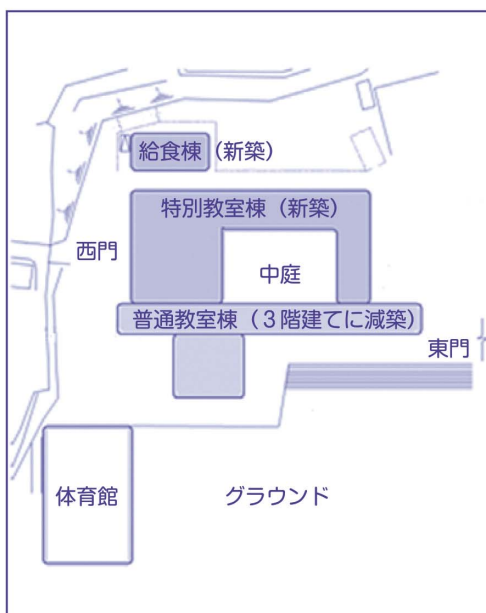
- ・現校舎では、東門から進入したはしご車が校舎西側に進むことは難しい。
- ・これらの問題点を踏まえて、建て替えると、長寿命化改修の比較検討が行われ、施設整備方針が決定されました。

○施設整備方針

普通教室棟は、既存校舎の4階部分を撤去して3階建てに減築し、長寿命化改修を行います。

特別教室棟・工作室棟は、建て替えます。新しい特別教室棟は、高低差のある北側敷地の一部を切り下げて建築し、給食棟は、別棟とします。

○工事計画



府中中学校校舎配置図

27年度中に仮設校舎を建設し、その後、既存校舎の取り壊し、改修・建築工事を行います。
29年度の3学期には、工事後の校舎の使用が開始される予定です。

○概算工事費

全体工事費は35億8,800万円で、27年度は3億8,600万円が予算計上されています。

〈議員からの質疑〉

Q コストはかかるが、普通教室棟も建て替えるべきではないか。

A 今後60年の費用を比較し、総投資額が少なく、工事費の平準化が図れる長寿命化改修を採用しました。

小学校卒業までの医療費完全

無料化を求める請願を不採択

平成26年12月定例会で付託された「小学校卒業までの医療費完全無料化を求める請願」の審査結果が厚生委員会から報告され、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

また、この請願に関連して、国に制度拡充を求める意見書を、全会一致で可決しました。

国に制度拡充を求める

意見書を提出

請願の審査で出てきた問題点について、厚生委員会から「国における乳幼児医療費助成の拡充を求める意見書」が提出されました。

乳幼児医療費助成制度は、子育て世代の負担軽減のため多くの市町村で実施されていますが、この制度を導入すると、国庫負担が減額されるなど、一定の歯止めをかける制度の方が現実的と考える委員が多数でした。

〈附帯決議〉

町は、請願の実現について、今後も研究を続け、検討するべきである。

その際、利用者の負担を現行制度より少なくし、財政的に負担のかからない制度設計とすることを含めて検討してほしい。

昨年12月定例会で厚生

委員会に付託された「小学校卒業までの医療費完全無料化を求める請願」は、委員会審査において不採択となり、本会議においても、賛成少数で不採択となりました。

厚生委員会の報告には、次のような意見と附帯決議が添えられました。

〈請願審査意見〉

現在、府中町の乳幼児医療費助成制度では、6歳児までの通院、小学校卒業までの入院の医療費の自己負担を、それぞれ無料としています。

請願の趣旨では、通院も小学校卒業まで無料化し、子育て支援をしようというもので、審査では、各委員とも、その主張に



歯科検診

人 事

○教育長の任命

高杉 良知 氏（山県郡北広島町大朝）

町の提案に対し、議会は同意しました。

〈新たな教育長は〉

4月から教育委員会制度が改正され、これまでの教育委員長と教育長を一本化した、新たな教育長が設置されます。

高杉氏が就任する、この新たな教育長は、具体的な事務執行の責任者となり、教育委員会事務局を指揮監督するとともに、教育委員会のすべての統括責任者となります。

○固定資産評価審査委員会委員の選任

臺丸 勝子 氏（八幡四丁目）

町の提案に対し、議会は同意しました。

○選挙管理委員の選出

任期満了に伴い、選挙管理委員（補充員を含む）を選出しました。

益永多美子 氏（瀬戸ハイム三丁目）

溝下 良子 氏（桃山一丁目）

松井 健 氏（柳ヶ丘）

河本 裕治 氏（山田三丁目）

町政のここがききたい

町行政全般に対し、9件の一般質問が9人の議員から提出され、町執行部の所信をいただきました。

Q & A

一般質問



木田 圭司 議員

Q 道徳教育の推進は A 学校・家庭と 連携して推進

木田 圭司 議員

児童生徒が他人を思いやる心や、善悪の判断を身につけるため、道徳教育は重要です。

昨年度、府中町では道徳教育実践研究事業に取り組み、創意工夫を生かした道徳教育を推進しています。

これからの小中学校の道徳教育の取り組みは、子どもの人格の基礎を形成する家庭や地域との連携は不可欠と考えますが、教育委員会の考えを伺います。

教育部長

学校では、道徳の授業を中心として、学校活動全体を通じて道徳教育を行います。

本町では、町内小中学校の道徳教育充実のため、道徳教育推進会議を設置し、研究・研

修をしています。

昨年度からは府中中学校区「道徳教育の改善・充実」総合対策事業の県指定を受け、校区内の小中学校4校が連携して道徳教育の充実に努めています

道徳教育の推進には、議員ご指摘のとおり学校内にとどまらず、家庭や地域社会との連携が不可欠です。各校では、道徳の時間を保護者や地域の方に見ていただく「道徳参観日」を実施し、参観後は懇談会を行っています。

今後とも、学校・家庭・地域が連携して道徳性をはぐくむ環境の充実に努めます。



梶川 三樹夫 議員

Q 子どもの悩みを 解決する体制は A 専門員の配置を要請中

梶川 三樹夫 議員

過日、川崎市で発生した中1生徒殺人事件のような事件が起きないよう、子どもの深刻な悩みをすくい取れる体制の確立が必要です。その方策の一つとして、学校と児童相談所、福祉事務所などが連携し、いじめや不登校、暴力行為などの問題を抱えた子どもの支援を行うスクールソーシャルワーカーの活用について、お尋ねします。

いじめや不登校をはじめ、児童生徒が引き起こす生徒指導上の問題行為の原因はさまざま、学校のみならず、家庭・地域・関係機関が連携して指導していくことが大切です。

し、色々な関連機関との仲介役となり、子どもや保護者の支援を行う役目を担っています。県では新規事業として、平成27年度からスクールソーシャルワーカーを配置する予定で、町は、2つの中学校区への配置を要請しています。

教育部長

当町では、この事件の発生を受け、直ちに「学校において7日間以上連絡が取れず、生命または身体に被害が生ずる恐れがある」と見込まれるもの」の調査を行い、該当者はいないことを確認しました。

適応指導教室



適応指導教室（くすのきプラザ）

加島 久行 議員

第3次総合計画は、平成27年度末をもって終了しますが、この間、町長は民間委託の推進、行政改革などさまざまなことに取り組まれ、大きな成果を上げてこられました。

現在、次の10年間のまちづくりの基本とな



集積する住宅地



加島 久行 議員

Q 町長が描く

府中町の将来像は

A 「誰もが住みたいまちづくり」を追求

町長

基本的には、安心安全はもちろんのこと、今日の大きな社会変化

る第4次総合計画作成に着手されていますが、その中で、町長は、府中町の将来をどのように描こうと考えておられるのかお尋ねします。

として、少子高齢化に伴う人口減、都市再生の情勢にいかに対処していくのか、今後の市制移行を見据えた行政サービスの拡充、また、広域行政の中で町の存在感をいかに高め、何を果たしていくことができるかなどが、今日の府中町に課せられた最大の課題です。

これから策定する「第4次総合計画」の中に、これらの課題に対応した施策を最大限盛り込み、「誰もが住みたいまちづくり」、を追求していきたいと考えています。

また、財政面においては、現在進めている主要3事業も逐一終了していく見通しが立っており、徐々に財政も健全化していくものと考えています。

岩竹 博明 議員

揚倉山健康運動公園の多目的広場は天然芝で、芝には養生期間が必要であり1年間を通した使用ができません。この天然芝を人工芝に張り替え、1年中有効に使用できる施設として再整備してはどうでしょうか。

教育部長

揚倉山健康運動公園は、平成8年に広島国体の成人サッカー会場としてオープンし、現在、サッカーやグラウンドゴルフなど、子どもからお年寄りまで楽しめる施設として親しまれています。

天然芝は、サッカー



岩竹 博明 議員

Q 揚倉山のグラウンド

を人工芝に

A 投資に対する効果を研究して



揚倉山健康運動公園の天然芝グラウンド

やラグビーなどのプレーをする上で、最もよい素材であると言われていますが、年間90日の養生期間が必要であり、年間維持費は約850万円です。

人工芝への張り替え費用は、1億9,000万円程度で、その他、年間約60万円の維持費が必要です。

また、人工芝の耐用年数は約10年で、その際には張り替えが必要となります。

人工芝にすれば、稼働率が上がるので使用料収入も増えますが、どの程度増えるか現在のところ未知数です。

今後、他施設の情報などを収集し、どうすれば投資に対し効果が上がるか研究してまいりたいと考えています。



道路灯の補修・点検

力山 彰 議員

一昨年、信号や道路標識の支柱が折れる事故が、県内で相次いで発生しました。これらの事故は、一歩間違えば重大な事故につながる恐れがあります。事故を未然に防ぐためには、定期的な点検と処置が必要です。府中町での道路標識



力山 彰 議員

Q 道路標識等の支柱の点検は

A 定期的に点検を実施

等の点検と更新計画についてお尋ねします。

建設部長

道路標識、道路照明施設の支柱の点検は、平成26年度、交通量の多い都市計画道路の照明施設572基、大型標識71基について、道路ストック総点検を行いました。また、それ

以外の226基は、職員が打音・目視点検を行い、69基に不具合が見つかりました。

緊急対応が必要な4基は撤去・移設を、13基は支柱の補強や錆止め塗装等の補修を行っています。12基は更新予定で、残りの40基は次年度に再点検を行い対応していきます。

支柱は、個々の設置環境等により耐用年数が変わり、計画的な更新をしていません。国の基準により、10年ごとに定期点検を行い、損傷状況を判断して対応しています。

議員

カーブミラーや消火栓の表示柱も、定期的に点検してください。

議員

今年は介護保険制度が大きく変わります。介護報酬の2・27%減、要支援認定者に対するサービスの廃止、入所サービスは要介護3以上が必要とは、どのような意味か、説明してください。入所サービスは待機



地域密着型介護老人福祉施設 府中みどり園



林 淳 議員



海渡 弘信 議員

Q 介護保険の今後は

A 可能な限り在宅で

は減りますが、制度全体への影響が問題です。要支援者を対象とした訪問介護と通所介護は、市町村が実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」へ、2年間で移行します。元気な高齢者には支援する側に入ってもらい、住み慣れた地域で健康に過ごすことへつながれと思います。

特別養護老人ホームへの入所は、平成27年度から要介護3以上の方だけになります。現在入所中の方は継続して入所ができます。

全国の入所待機者は52万人を超え、町も待機者270名、この中で、要介護3以上で在宅の方は65名です。新規施設も開所予定ですが、需要に追いつかない状況です。

福祉保健部長

者が多いようですが、考えを聞きます。

介護報酬減が報道されていますが、介護報酬自体が4・48%減、これに従事者の処遇改善など加わり、全体で2・27%減となります。サービス利用者の負担

益田 芳子 議員



益田 芳子 議員

Q わが町の

地方創生は

A 誰もが住みたいまちづくりを

地方創生の一環として、家計の支援と消費喚起を促すプレミアム付き商品券が発行されることとなりました。

また、人口減少対策として、即効性のある施策を展開するための「地方版総合戦略」の策定が始まります。

プレミアム付き商品券の実施計画、町の「地方版総合戦略」策定の方向性を伺います。

町長

府中町が活力を維持するためには、今後も安定した人口規模を保ち、若い世代を中心に安心して結婚・出産・子育てができ、働き続けることのできる環境整備が必要と考えます。このため、「地方版総合戦略」では、「誰

生活環境部長

消費喚起による地域経済の活性化を目的として、町内限定で使用できるプレミアム付き商品券を発行します。



物産品等販売（つばき館）

町内全世帯を対象に、希望すれば1世帯につき1セット（千円券12枚）を1万円で販売し、平成27年12月31日まで町内の登録店舗で使用できます。

商品券の販売は、6月中旬から7月中旬を予定しています。

西 友幸 議員



西 友幸 議員

Q 向洋駅南側区画整理・

連続立体交差事業の進捗は

A 着実に進行しています

区画整理区域駅南側の進捗状況を伺います。

連続立体交差事業については、平成34年度完成の予定ですが、昨年末から海田地域も含めた計画が再検討されています。完成予定が延びる可能性について、見解を伺います。

また、当初の計画期間内に完成させるため、町長は、国をはじめ関係機関に意見進言をすべきと思いますが、考えを伺います。

区画整理事務所長

駅南側の仮換地指定を1月末に行い、これで予定地域全体の仮換地指定となりました。

平成27年度の事業内容は、物件移転補償9件、物件調査14件、パチンコトーヨー跡地の



向洋駅周辺土地区画整理事業

画地整備工事を予定しています。

広島市東部連続立体交差事業は、広島県がコスト削減のため高架の高さを抑える検討をしており、6月定例会までには方針が決定されるものと思います。

また、町長と知事による会談では、34年度

の完成をキープするとの言葉をいただいております。これにより事業を管理しています。

計画期間内での事業完成のための活動は、26年度中は広島県に対し、町長による提案活動を5月と11月に行っています。

議会の動き

1月

- 14日 議会報特別委員会
- 15日 厚生委員会

2月

- 2日 総務文教委員会
- 4日 京都府久御山町議会
・精華町議会来庁
- 5日 厚生委員会
- 13日 全員協議会
- 19日 広島県町議会議員研修会
- 23日 総務文教委員会
- 26日 厚生委員会
- 26日 建設委員会

3月

- 4日 議会運営委員会
- 5日 議会報特別委員会
- 6日～19日
3月定例会
- 9日～13日
予算特別委員会
- 16日 議会報特別委員会
- 17日 総務文教委員会
- 30日 議会報特別委員会

議会を傍聴してみませんか



どなたでも
傍聴できます。

次の定例会は6月中旬の予定です。

皆さまのお手元へ、この号が届く頃には、カープ・サンフレ共にご鞭撻をよろしく願っています。

皆さまの声を聞きながら、「まちづくり」に反映させて参りますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしく願っています。

皆さまの声を聞きながら、行政・議会だけでなく、皆様の声を聞きながら、「まちづくり」に反映させて参りますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしく願っています。

皆さまの声を聞きながら、行政・議会だけでなく、皆様の声を聞きながら、「まちづくり」に反映させて参りますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしく願っています。

県知事表彰・ 議長会特別表彰

(議員在職30年以上)



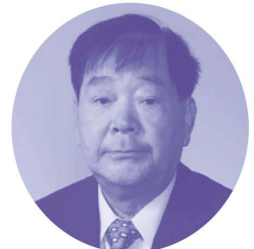
繁政 秀子 氏

議長会表彰

(議員在職14年以上)



中村 勤 氏



山西 忠次 氏



木田 圭司 氏



岩竹 博明 氏



中村 武弘 氏



梶川 三樹夫 氏

※中井元信氏は表彰を辞退

編集後記

3月議会において、平成27年度各会計予算が成立し、新年度予算によって、町行政が運営されることとなりました。

我々議員は、行政サービスが計画どおりに執行されているかを見定め、町民の皆さんが「住みたい町、府中町」と思われるまちづくりに努めてまいります。

私たち議員も将来の府中町のあるべき姿を、行政・議会だけでなく、皆様の声を聞きながら、「まちづくり」に反映させて参りますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしく願っています。

皆さまのお手元へ、この号が届く頃には、カープ・サンフレ共にご鞭撻をよろしく願っています。

皆さまの声を聞きながら、行政・議会だけでなく、皆様の声を聞きながら、「まちづくり」に反映させて参りますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしく願っています。

皆さまの声を聞きながら、行政・議会だけでなく、皆様の声を聞きながら、「まちづくり」に反映させて参りますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしく願っています。